

「G空間×ICT推進会議」について

平成25年3月
事務局

「G空間×ICT推進会議」の開催について

- ★ G空間社会の実現について、これまでの政府の取組を基盤としつつ、急速に発展するICTをかけあわせることにより、加速。
- ★ G空間情報を活用した新たなサービスや防災・地域活性化などに関する「G空間×ICT」実証プロジェクトを推進。

これまでの経緯

政府全体の動き

- ・平成19年「地理空間情報活用推進基本法」成立。
- ・平成20年、第一期「地理空間情報活用推進基本計画」、平成24年、第二期計画を閣議決定。

準天頂衛星の整備

- ・平成22年、準天頂衛星初号機打ち上げ。
- ・「2010年代後半を目途に、まずは準天頂衛星4機体制を整備」予定。



ICT環境の変化

- ・ビッグデータ活用技術の進歩
 - 平成24年関連市場規模197億円(前年比38.2%増)
- ・ワイヤレスブロードバンド環境の整備
 - 平成23年度のスマートフォン国内出荷台数2,417万台。(全出荷台数の56.6%)
 - 3G普及率 97.2%(平成22年)
 - 家庭内無線LAN普及率 39.3%(平成23年)
 - LTE契約者数 900万契約(NTTドコモ)(平成25年1月)
- ・ソーシャルメディアの普及。
 - ソーシャルメディア利用率53.3%(平成23年末)
- ・地図や位置情報アプリの普及。
 - スマートフォン所有者の地域情報検索率90%(2012年1月～3月)
- ・オープンデータ流通環境の整備。
 - 平成24年、「電子行政オープンデータ戦略」(IT推進本部決定)

G空間×ICTの 利活用イメージ

我が国の課題

経済の再生、防災・復興、
暮らしの再生、地域活性化 等

「G空間×ICT」の 当面の利活用イメージ

G空間情報を利用して、早期
に実現することが可能なサー
ビス等

「G空間×ICT」の 将来の利活用イメージ

- 2015年、2020年の「G空間×ICT」社会の未来像
- 「G空間×ICT」社会の実現による社会・生活へのインパクトやベネフィット
- 「G空間×ICT」社会の実現により拡大する市場規模

実現に向けた取組

新産業・サービスの創出 【元氣をつくる、国の仕組みをつくる】

- OG空間×ICTビジネスモデルの検討
- OG空間情報を活用したICTビジネス・サービスの振興
- OG空間情報を活用したシステムの海外展開
- OG空間情報の活用による行政の効率化・高度化

防災・地域活性化 【命をまもる、便利な暮らしをつくる、 みんなの安心をまもる】

- OG空間情報の活用による防災・減災
- OG空間情報の活用による地域活性化

G空間×ICT実証プロジェクトの推進

